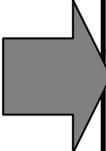
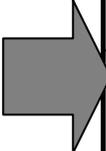


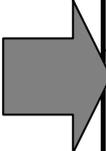
北陸信越地方交通審議会 答申のイメージについて 未来の日記（案）に係る論点

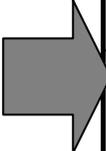
命題 テーマ 1 幹線交通

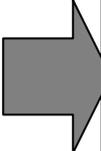
<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p>	<p>未来の日記（案）への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記（案）に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記（案）に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>高速交通手段の整備・充実を進め、三大都市圏等の広域拠点間との連絡時間の短縮を図る。</p> <p>北陸信越地域と近隣地域間を繋ぐ高速基盤の整備を図る。</p> <p>国際的な経済活動、観光交流の活性化を促進するとともに、環日本海ゲートウェイとしての連携機能強化を図る。</p> <p>(追加) モーダルシフトの推進と、高速道路網の整備等を通じた幹線物流体系を構築する。</p>	<p>北陸新幹線の整備による首都圏との連絡時間の短縮</p> <p>国際航空路線の充実</p> <p>空港アクセスの改善</p> <p>外国語案内表示/標識の充実</p> <p>全国観光統計基準の統一化</p>	<p>(論点1) 高速道路整備（cf. 東海北陸自動車道の全線開通に伴う中京圏との結びつきの強化）をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) 中部国際空港乗継による多くの外国からの北陸信越地域への観光入込や能登空港イン・中部国際空港アウト等のような外国人観光客に対する空港利用の選択性の多様化をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点3) 旅客のみならず、貨物輸送についても長距離フェリーや北陸本線を活用したモーダルシフトの一層の推進をどのように反映すべきか。</p>

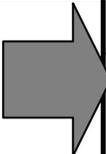
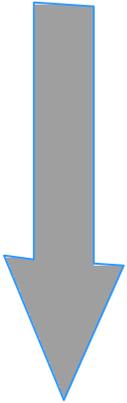
<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>広域的高速交通基盤と地域交通の連携強化を図る。</p> <p>魅力ある観光ルート形成を進め、周遊観光の振興を図る。</p>	<p>地域内フリー切符</p> <p>インターネットによる情報発信の充実</p>	<p>(論点1) 駅や空港などと観光地・温泉地などを結ぶ「安くて・便利な」二次交通の充実により、新幹線や空路を使った旅行計画(個人ツアーなど)の組み易さの追求をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) 旅行計画の作成や現地で役立つ情報発信の充実をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点3) 公共交通をより使い易くするような商品開発・設定をどのように反映すべきか。</p>

<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>地域内社会の交流を促進するための交通基盤(インフラ)整備を図る。</p> <p>連携拠点となる交通結節点の利便性確保とアクセス改善を図る。</p> <p>公共交通網の高速化を進め、拠点間連絡時間の短縮を図る。</p> <p>公共交通利用者の利便性を確保する運用を目指し、サービスの向上に努める。</p>	<p>接続列車・バスの利便性の向上</p> <p>LRTの整備・導入</p> <p>ICカードの導入・普及</p>	<p>(論点1) 北陸新幹線整備後の上越新幹線(高崎駅以北)及びほくほく線の活性化をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) 新幹線と接続する在来線の利便性の確保(広域)をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点3) 克雪対策の一層の充実をどのように反映すべきか。</p>

<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>地域内交通を維持し、サービスの高度化を進めるため、デマンド型交通など新たな輸送手段の導入を進める。</p> <p>交通不便地域における公共交通維持継続のための積極的な支援を図る。</p> <p>何らかの公共交通手段存続により、地域の孤立化防止する。</p>	<p>デマンドバス、コミュニティバスや乗合タクシーの整備導入</p> <p>バリアフリーの進展</p>	<p>(論点1) 観光と生活の双方の需要をターゲットとした地域交通の整備をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) 利便性を確保しつつ、地方公共団体の負担の増加を最小限に抑制するシステムの導入をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点3) 公共交通機関の宅配便等の集配への活用をどのように反映すべきか。</p>

<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべきと思われる主な論点</p>
<p>デマンド型交通など新たな輸送手段の導入を進める。</p> <p>地域内社会の流動を確保するための交通基盤(インフラ)維持を図る。</p> <p>いわゆる従来型の「乗合バス型輸送手段」からの発想の脱却を図る。</p> <p>自家用自動車の利便性や機動性を公共交通の補完的手段として活用することを検討する。</p> <p>地域提案/参加型の交通計画策定への国の積極的支援を図る。</p>	<p>福祉バスやスクールバスの機能を有する路線バスの導入</p> <p>NPOと提携したマイカーを活用した郵送運送</p> <p>デマンドバス・乗合タクシーの導入展開</p> <p>パブリック・インボルブメントの充実や住民、顧客ニーズの反映</p> <p>公共交通機関のスピードアップなどのサービス強化</p>	

<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>マイカーからの利用転換を促す公共交通サービスの向上を進めるとともに、一定の条件の下でのマイカー利用抑制を検討する。</p> <p>交通空白地帯におけるマイカーと公共交通との結節性を高める。</p> <p>(追加) マイカーと公共交通の共存</p> 	<p>デマンドバスの導入展開とコミュニティバスの活用</p> <p>バス専用・優先レーンの整備</p> <p>路上違法駐車取締強化</p> <p>JR鉄道の通勤列車本数の増加</p> <p>マイカー規制(ロードプライシングやカーシェアリング等)</p> <p>水上交通の活性化</p> <p>バリアフリー化</p>	<p>(論点1) 幹線交通(特に新幹線駅)におけるパーク&ライドの一層の推進をどのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) マイカーと公共交通の共存を、それぞれの利点と欠点を踏まえた上でどのように反映すべきか。</p>

<p>施策検討の基本的方向性 (第3回審議会決定事項)</p> 	<p>未来の日記(案)への反映及び今後の論点</p>	
	<p>未来の日記(案)に反映した具体的 記述な記述の方向性</p>	<p>今後、未来の日記(案)に反映すべき と思われる主な論点</p>
<p>冬期などの厳しい自然気象においても「事故0・安定輸送」の実現を目指す。</p> <p>誰もが平等に、快適で楽しく移動することのできる社会の実現を目指す。</p> <p>環境にやさしい公共交通の利用を促進する。</p>  <p>(修正) 安全・安定輸送の徹底を目指す。</p> <p>技術革新を活かした、より便利で使いやすい公共交通を目指す。</p> <p>環境にやさしい交通体系を目指す。</p>	<p>お年寄りや体の不自由な方に対するバリアフリー化と、外国人に対するバリアフリー化(外国語案内表示/標識の充実)</p> <p>鉄道や自動車における安全・安定輸送の徹底</p> <p>公共交通の利用促進と低公害車の開発・普及促進</p> <p>ICカードの導入やフリーゲージトレインの導入など、高度技術を活用した公共交通機関の利便性の向上</p> <p>グリーン経営などの環境に配慮した運輸事業者の増加</p> 	<p>(論点1) 高度技術を活かした安全性の向上や公共交通の利便性の向上(便利で使いやすい公共交通)について、どのように反映すべきか。</p> <p>(論点2) 上高地・乗鞍岳などの国立公園等で実施されているマイカー規制やパーク&ライドなどの一般的な交通施策への拡充についてどのように反映すべきか。また、グリーン経営の推進などの環境配慮への取組みをどのように反映すべきか。</p>